

事務事業名		海岸堤防水門管理委託業務		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	05 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和41 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		
	施策名	22 防災対策の推進				
	基本事業名	01 地震・津波対策の推進				
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 09 01 04 00 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)		
所属	部課名	大船渡地区消防組合 大船渡消防署		全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0		
	課長名	大久保守正				
	係名	警防係	電話			27-2119
	担当者	中平光	内線			433
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 平成25年度から津波被害を受けていない水門の管理委託契約を締結、また、水門等の自動閉鎖システムが整備中であり、平成29年6月末現在、合足海岸及び吉浜海岸の災害復旧工事が完了している。今後、さらに水門等が整備されることから、現在復旧された水門等の管理業務の委託契約について協議中であるもの。 ※ 既存水門：第6分団1基、第7分団4基 計5基 新規水門：合足海岸2基、吉浜海岸1基 計3基 今年度中に更に8基完成予定(平成29年度中に11基整備予定)						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
水門管理:第6分団1基、第7分団4基、計5基の維持管理を契約により実施。		ア	点検業務 回
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	点検結果報告 回
水門管理:第6分団1基、第7分団4基、計5基の維持管理を契約により実施予定、また、水門等の自動閉鎖システムが整備になった場合、維持管理を実施予定。		ウ	非常時及び訓練時の水門等開閉操作 回
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
県で設置している水門、また、整備中の水門等。		名称	
		単位	
		カ	水門の数 基
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
水門を常時良好に維持管理し、有事の際に備える。		名称	
		単位	
		サ	良好に維持された水門 基
		シ	
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
水門を適切に維持管理することにより、有事の際の確実な作動が担保される。しいては高潮、津波による被害を最小限に抑え、住民の安全につながる。			

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	34	34	934	934	934	934	
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円							
	事業費計(A)		千円	34	34	934	934	934	934	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	60	60	60	60	60	60	
		人件費計(B)	千円	240	240	240	240	240	240	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	274	274	1,174	1,174	1,174	1,174
⑤活動指標		ア	回	3	3	3	3	3	3	
		イ	回	3	3	3	3	3	3	
		ウ	回							
⑥対象指標		カ	基	5	5	16	16	16	16	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	基	5	5	16	16	16	16	
		シ								
		ス								

事務事業ID	1118	事務事業名	海岸堤防水門管理委託業務
--------	------	-------	--------------

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

**① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？**  
 昭和49年より津波、高潮被害の軽減のため防波堤が設置されたが、道路や水路を横断しているため通常開放されている門扉が設置された。このために有事には、この門扉を閉鎖したり、日頃は点検を行う必要があり開始された事業である。  
 震災により海岸付近に設置の水門は損壊したが、平成25年度より、被害を受けていない水門の管理委託契約を締結した。  
 また、現在水門等自動閉鎖システムが整備中となっており、順次維持管理されていく予定となっている。

**② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？**  
 津波来襲時に、水門を閉める作業は非常に危険を含んでいる。このため、岩手県では水門・陸門などの全てを遠隔操作できる制御局設置の計画がされている。  
 平成29年度中に11基の水門が完成予定となっている。

**③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？**  
 現在、消防団がこの事業を実施しているが、危険なので全ての水門を早期に遠隔操作できるよう希望する。(消防団長)

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	<b>① 政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 水門を良好に維持管理し、有事には水門を閉鎖し海岸付近に居る市民や工作物などを高潮、津波などから守れる。
	<b>② 公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 防災対策の根幹として実施すべき事業であり、十分な公共性を有する。
	<b>③ 対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 水門閉鎖が、遠隔操作などにならない限り縮小はできない。
有効性 評価	<b>④ 成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 全ての水門などを遠隔操作としても、人的な定期的な点検は欠かすことが出来ないため、必要な事業である。
	<b>⑤ 廃止・休止の成果への影響</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 高潮、津波等の災害発生時に機器の故障及び障害物により閉鎖出来ない事態が生じる恐れがある。閉鎖出来なかった場合は、住民や各種工作物等に被害が及ぶ恐れがあるため、廃止・休止は出来ない。
効率性 評価	<b>⑥ 事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 住民は避難行動が第1であり、住民の協力は考えていない。また、遠隔操作水門の増加であるが莫大な費用を要する。
	<b>⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在の費用で、いつ発生するか判らない災害に対し、即対応できる企業、団体は他にはない。
公平性 評価	<b>⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 海岸地域の保護による受益者は、沿岸住民だけではなくは限らないので公正である。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

<b>(1) 改革改善の方向性</b>	<b>(2) 改革・改善による期待成果</b>																					
<b>① 現状維持</b> 2 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<b>(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</b> 東日本大震災を経験し津波被害軽減のため、既存の水門については継続して管理していく。 また、現在水門等の自動閉鎖システムが整備中であり、今後維持管理業務が委託された場合、既存水門と併せて管理していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

**4 課長等意見**

<b>(1) 今後の方向性</b>	<b>(2) 全体総括・今後の改革改善の内容</b>
<b>① 現状維持</b> 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	津波被害軽減のため、既存水門は引き続き維持管理していく。 整備中の自動閉鎖システムによる水門等も、併せて管理していく。